

---

# きれいなハート型のなにか。

夕焼け

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

きれいなハート型のなにか。

### 【Nコード】

N5146D

### 【作者名】

夕焼け

### 【あらすじ】

きれいなハート型のなにかを探してる。それをたくさん、たくさん探して集めて、いつかでっかい奇跡でも起こしてやろうと思う。

きれいなハート型のなにかを探してる。

ぼくは科学者じゃないから、それがどういった物質で出来てるのかを知らない。

ぼくは考古学者じゃないから、それがどういった成り立ちで生まれたのかを知らない。

でもそれは多分結構昔からこの世界にあって、顕微鏡で見えないくらい小さい何かで出来てる。

とてもささやかで、とても原初的。

「夕焼けの色が本当の世界の色だったなら、何よりも先に子供達にそのことを知らせてやらなきゃならない」

そんなことを歌ってたバンドがある。

夕焼けの色が本当の世界の色だなんて、多分1+1が2になるよりも確かな事実だ。

ぼくたちが子供達に教えてあげなくちゃならないのは、多分そうゆう事なんだろう。

それは教科書には載ってないし、偉い学者さんも教えてはくれない。

日中の太陽光の中では見えない何か。  
夜の暗闇の中では見えない何か。  
そんなものを暴き出す夕焼けの赤。

線路を跨ぐ寂れた歩道橋があつて、そこから見渡せる街の影に夕日  
がゆっくり沈む。

多分ニュータウンだ。

ぼくはその街を知ってる。  
とてもよく、知ってる。

近くの家から夕飯のシチューの匂いがして、  
木枯らしが冷たく吹いて、  
その風にのって子供達のはしゃぐ声が聞こえる。

夕焼け。

ふと、ハートがなにかを感じる。  
ちいさななにか。

親指と人差し指の間に挟んでほんの少し力を込めれば容易く潰せち  
やうなにか。

でも、きつと核兵器なんかじゃ壊せない何か。

ぼくはそうゆうものを今日も探してる。

今まで何個も見つけたけど、まだまだ足りない。  
それをたくさんたくさん集めれば多分奇跡が起きる。  
だって、世界はあらゆるものの総和で出来てるから。  
たくさんさんの願いが集まればきつと奇跡は起きる。  
ピタゴラスの定理より簡単な理屈だ。

だからぼくはその奇跡が起こるほうにありつただけのチップを賭ける。

馬鹿みたいなゲーム。

こんな浅はかな考えで何かが変わるなら、きっと世界なんてとつくに平和になつてゐる。

そうはならない事情と経緯がいくつも折り重なって現状がある。

この賭けはどう考えたって分が悪い。  
よく分かつてゐる。

けど、子供じみたこの下らないゲームに人生を賭けて大損こく覚悟ならもう出来てゐる。

きれいなハート型のなにか。

六本木の高層ビルを買えるくらいのはした金じゃ買えないから、  
ぼくは今日も目を凝らしてそれを探す。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5146d/>

---

きれいなハート型のなにか。

2010年10月27日02時07分発行